

ガス交換という視点でみた 東南アジア熱帯雨林の機能

京都大学農学研究科 小杉緑子

2008/1/30

Pasoh Forest Reserve(パソ森林保護区)

アジア熱帯林における炭素動態研究のパイオニアサイト
1970年代から森林バイオマス研究を展開(IBP)

ガス交換観測研究展開の意義

フラックス観測のもつ世界的・今日的な意義:その短いタイムスパンゆえに決定要因も含めた詳細な動態の把握という目的に対して大きなAdvantageを持つ。「いかにして」の部分、森林システムの機能を解明する上で役立つ。

熱帯雨林における長期連続観測データはアマゾン含めこれまで数サイトの報告があるのみで、非常に重要な意義をもつ。

アマゾン熱帯林や他のアジア熱帯林との比較一雨季と乾季のはっきりしたアマゾン熱帯林や、降雨パターンの違う他のアジア熱帯林と比較して、フラックス特性はどのようにどの程度違うのか？

水と森林との関わりあい、水条件に規約される森林の機能の評価

森林バイオマス研究との融合による多面的な炭素動態の把握・アジア熱帯雨林の機能と役割の評価(「炭素何トン吸収」という単純な切り口ではなく)

これらの切り口から、アジア熱帯雨林とはどういった存在なのか、を科学的な手法で描き出すことための、ガス交換観測研究を展開している。

